

小塩薫
(株)タクロウワタ

松永圭太
徳田吉美
佐藤正士
川端健太郎
加藤清之
道川省三
竹内真吾
吉川正道
金憲鎬
宇賀和子
吉川千香子
森正

内田鋼一
白木千華
池田晶一
井上雅子
中田雅巳
斎藤まゆ
北村純子
日野田崇
村田彩
浅野哲
津守愛香
長澤和仁
田嶋悦子
富田美樹子
作元朋子
川口淳
鈴木秀昭
板橋廣美
長岡千陽
馬場康貴
正守千絵

十三代三輪休雪
松田百合子
大久保陽平
馬川祐輔
加藤委
森野彰人

*並びは順不同

企画展

タイル考〜陶芸の視座より

やきものの魅力で読み解くタイル

伊藤慶二
伊村俊見
加藤亮太郎
青木透
柴田雅光
渡邊太一郎
伊藤秀人
安藤千都勢
酒井紫羊
春田里美
新里明士
アサ佳
松永泰樹
鴨頭みどり
加藤仁香
大道宏美
小栗寿賀子
田中陽子

2021.3.20 土・祝 - 6.27 日

開館時間 午前9時〜午後5時(入館は午後4時30分) 休館日 月曜日(休日の場合は翌平日)

会場 多治見市モザイクタイルミュージアム 3F ギャラリー

観覧料 一般310円、団体250円(常設展観覧料でご覧いただけます)
高校生以下無料、障がい者手帳をお持ちの方及び付き添い1名様無料

主催 / 多治見市モザイクタイルミュージアム



モザイクタイルミュージアム
MOSAIC TILE MUSEUM Tajimi

正倉院 タイル考～陶芸の視座より

これは大正11年4月12日、東京で開かれた全国タイル業者大会において、全会一致で可決された提案です。以降、日本で「タイル」とは、建築物の表面を覆う、やきものでできた比較的薄い建材全般を指すようになりました。同時期、京都では、京都市から国に移管された陶磁器試験所を舞台に、初代所長植田豊橋等がタイルをはじめとする陶製の建築装飾の研究を積極的に進めていました。すなわち大正後期から昭和初期という時代、全国的にタイルが注目され、定義や在り方が盛んに研究されていたのです。戦後には岡本太郎をはじめとするアーティストがモザイクタイルを表現に取り入れたこともありましたが、工業製品のように量産される建材の一種というイメージが固定化されていったように感じられます。

やきものの技術による表現を生業とする作家は、「タイル」にどのような視線を向け、どのような可能性を見出すでしょうか。世界的な感染症の流行により、日常生活や価値観が大きな変化を迫られている今だからこそ、大量生産に適する製品として効率化が進められてきたタイルにも、これまでにないあり方が求められているのではないのでしょうか。アーティストの考える自由な「タイル」は、きっと、私たちにとっても新たな一歩を踏み出すヒントとなるでしょう。

やきものの魅力で読み解くタイル

●ご来館前

- ・土日祝日につきましては、ご来館の事前予約をお願いいたします。
- ・発熱などの風邪症状のあるお客様は、ご来場をご遠慮ください。
- ・必ずマスクを着用の上、ご来館をお願いします。
- ・10人を超える団体でのご来館については、当日の状況に応じて検討しますので、ご相談ください。
- ・混雑時は入館をお待ちいただくことがあります。

●ご来館時

- ・受付の際には、ご家族・同伴者ごとに間隔をあげ、会話を控えてお並びください。
- ・入館時に口頭でマスク着用、体調などの確認をいたします。
- ・こまめな手洗いと手指消毒をお願いいたします。
- ・ご観覧される際は、他のお客様と1メートル以上距離を空けてください。
- ・展示室内では、大きな声での会話を控えください。
- ・ご観覧は1時間を目安に、展示物や展示ケース、展示室壁面などに触れないよう、お願いします。
- ・ご予約なしでご来場された場合には、岐阜県感染警戒QRシステムもしくは連絡票へのご記入をお願いします。

新型コロナウイルス
感染拡大防止のためのお願い



〒507-0901 岐阜県多治見市笠原町2082番地の5
電話 0572-43-5101 FAX 0572-43-5114
URL <http://mosaictile-museum.jp>

アクセス：[公共交通機関]名古屋から、JR中央本線下り、多治見・中津川方面下車、多治見駅下車。多治見駅から東鉄バス（約20分の乗車）、東草口行き、羽根行きにて、モザイクタイムミュージアム下車。
[自動車]多治見ICから約25分。土岐南多治見ICから約15分。
※駐車場は笠原中央公民館などの合同駐車場です。駐車スペースに限りがありますので公共交通機関のご利用をお勧めします。

